クローバーだより

2022 年 10 月 21 日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
林　ともこ

子どもが発する「甘え」「大好き」のサイン　PART Ⅰ

「甘え」とは、愛情を確認すること！！

子どもは常に、無意識のうちに心に“不安”を抱きつつ毎日を過ごしています。
「ママは僕のこと好きかな？」「パパは私の事見てくれるかな？」「自分は愛され、必要とされているかな？」・・・と。
　そんな不安や寂しさを打ち消したくて、子どもはパパやママに甘えてくるのです。
子どもの甘えは、いわば“愛情を確認する行為”なのです。
ママやパパに甘えさせてもらうことで子どもは安心し、また他人を愛するしあわせを知ります。自分を好きになり、自分に自信を持つ事が出来ます。

子どもを甘えさせないとどうなるの？

子どもは甘えるのが普通です。
だから、子どもが甘えてくるうちは健全で安心なのですが…。逆に小学校 3～4 年生くらいまでの子があまり甘えてこない場合はちょっと心配です。親からの愛情が不足していたり、十分に甘えさせてもらえなかった子どもは、徐々に「甘え」や「大好き」のサインを見せなくなっていきます。
甘えることができない子どもは、無意識に重いストレスを抱えてしまったり…自信をなくしてしまったり…怒りや不信感を募らせたり…。様々なマイナスの感情を持ったまま成長してしまうのです。成長してから問題行動を起こすようになる人は、幼児期に十分に甘えさせてもらえなかったことが原因だと言われています。

つまり、保護者は子どもが発する「甘えさせて」のサインを見逃さないようにし、必要な時に適切に甘えさせてあげることが大切なんですね。では、この「甘えさせて」のサインが具体的にどのようなものがあるのか、ご紹介します。

1，見て見て！	2．〇〇やって！〇〇して！	3．テレビの面白い場面でふりむく
4．これなに？なんで？	5．親の好きな物を好きになる	6．叩く、ダダをこねる
7．わがままや文句を言う	8．できたことが急にできなくなる	

上記のサインについて、次号でお伝えしていきます。
また、**「甘え」**と**「甘やかし」**の違いについてもお伝えしていきます。この「甘やかし」を甘えと勘違いして接していくと、親子関係だけでなく成長してからの心に大きく影響していきます。
次号もお楽しみに！！

絵本紹介～お弁当もってお出かけ編～

2歳児～

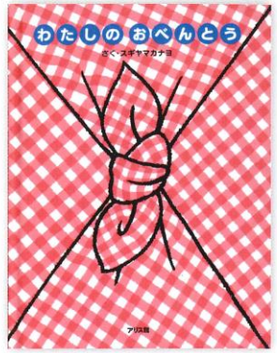
レッツゴー おべんとう!

作／わたなべあや
白泉社
本体880円+税
17.7×17.7cm
24ページ

お弁当が遊園地に行くところから、お話は始まる。「♪ゴーゴー　レッツゴー　バイキング」「♪はっぱっぱっぱ　やさいさん　うふ　うふ　うふふん　フルーツさん」、歌うように読むと楽しい。子どもたちはお弁当というより、遊園地の乗り物と言葉のリズムを楽しんでいる。そして、お弁当箱のジェットコースターに乗り込むと、女の子と男の子の所へシュー。それまでかわいくあそんでいた、おにぎりや卵焼きたちが普通のお弁当になったら、2歳のさきちゃんはちょっとびっくりした顔に。でも、ちょっと私の顔を見て、「食べていい?」と聞くので「どうぞ」と言うと、ピンクの弁当箱からリンゴを取って、おいしそうに食べるまねをしていた。ジェットコースターに乗らなかったタコウインナーはTシャツに!?

3歳児～

わたしの おべんとう



作／スギヤマカナヨ
アリス館
本体880円+税
20×16cm
28ページ

この絵本は、お弁当のように大事そうに持って、子どもたちの前に座る。「おべんとうだよ」と表紙の包みを開けるまね。2歳児でも、興味津々でじっと私の膝の上の絵本を見つめる。ふたを開くように絵本をめくる。「わー、サンドイッチ！」と、あっちゃんはうれしそう。私がサンドイッチを取って食べるまねをすると、子どもたちも手を伸ばす。「おいしいねえ」と言うと子どもたちも、本当に食べているかのように、うれしそうにもぐもぐと口を動かす。こんな時間がいいなあと思う。“ぼくのおべんとう”のぼくと取り替えっこしたり、納豆のサンドイッチがあったり……。「おとうさんはブロッコリーがきらいなんだよ」と読むと、野菜の嫌いなたっくんはニャッと笑う。子どもたちと一緒にお弁当を食べている気分になれる本です！

食欲の秋！　マナーをしっかり！そして栄養満点で元気いっぱい！

食物繊維やビタミンCが豊富なさつまいも

天ぷらや煮物、焼きいもなど、さつまいもは子どもたちが大好きな食材です。自然の甘みがあり、腹持ちがよいのでおやつとしても最適。切ったときに出る白い液体はヤラピンといって、便を軟らかくする効果があり、セルロースなど豊富な食物繊維との相乗効果で便通をよくします。いものなかではビタミンCが一番多く、石焼きいものようにじっくり焼くと、より甘みが増します。

正しい箸の使い方を身につけよう

日本人の食生活に欠かせない「箸」。親指と人さし指を直角にしたときの長さの1.2倍が、自分に合った箸の長さだといわれています。持ちやすくて軽い、先端が滑りにくい物がおすすめです。親子で練習するときは、同じ方向を向いて座り、保護者が持ち方を見せるようにします。すぐに正しく持てなくても、気長に見守りながら練習していくことが大切です。箸を口にくわえたり、人に向けたりするのは危険なのでやめるようにしましょう。

《子育て相談》
自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、
こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか？
保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、
ご都合の良い日を決めさせていただきます。
TEL　０５６１－３６－８３７３　　お電話お待ちしています